

2022年  
1月号  
No.087  
発行責任者  
日本共産党  
香芝市議員  
中井政友  
香芝市五位堂  
4-359-1  
ma36sa83@kon.jp  
Tel090-3869-9204  
中井 QR



市政の声を市民に届けます

## 本年も何卒よろしく お願い致します

寅年も国民の  
苦難軽減を



## 12月議会報告

① 令和2年度

一般会計否認定で可決

◆主張◆

香芝・王寺焼却所の自治体負担(都市計画道路等)や職員

時間外労働等を理由にされました。しかしR2年度の決算であり不正等無くコロナ対策に取り組まれてきたと私は、認定に賛成しました。

◆主張◆

障がい者や家族の求める市全体の相談支援機関として施設を残すべきと反対しました。

④ 令和4年からの体育施設指定管理者がミズノに変わります。

焼却場問題についての思い

新聞報道にあるように焼却場組合を構成している、二自治体間で負担金を巡って対立しています。長年、組合を構成してきた両自治体として一方向的な主張・可決や裁判するのではなく、話し合いで解決する姿勢のないことが残念です。

◆主張◆

⑤ 国民健康保険、国の改定を受けて就学前まで子ども一人当たりの均等割りがなくなり子育て世帯の負担が軽減されます。

② 補正予算(時間外労働2年分1億2千万・就学援助費受給者増)

③ 緑の基本計画とともに障がい者施設「すみれの里」民間へ払い下げる議論をする。2つの附属機関をつくる。

帯の年収の2割に及ぶ保険料の軽減のために国の支出を増やし国保各家庭に掛かる平等割や一人当たりには掛かる均等割りを全てなくして協会けんぽ並にするように訴えています。

◆主張◆

社会保障といえない国保の世帯の年収の2割に及ぶ保険料の軽減のために国の支出を増やし国保各家庭に掛かる平等割や一人当たりには掛かる均等割りを全てなくして協会けんぽ並にするように訴えています。

⑥ 国民健康保険・基金の使途を定める条例

令和3年度基金を取り崩して国保世帯にひとり1万円給付された事に効果があったのかと他の議員から批判が出しましたが、担当委員の青木議員は、国保家庭の負担の重さと、その軽減について主張しました。

⑦ 政務活動費

毎月の議員報酬に加えて内容を定めて議員と会派にそれぞれ一人当たり月2万5千円4月から支給される条例案が議員からだされました。

◆主張◆

もともと個人ごとに2万5千円あったところに新たに総額約480万円の増額になります。これだけあれば就学援助費を国基準に引き上げること(600万円必要)もほぼ実現できます。

中井の一般質問2本

◆自治体のデジタル化は便利さの裏に問題があるのでは？

① 今後、国の個人情報保護法が市の個人情報保護条例にとってかわるが民間企業が入るデジタル

時代に逆行!

### 喫煙室を庁内に設置するって本当？

真鍋議員より提案があったのは、なんと庁内の敷地内に屋外分煙施設設置の予算措置を要請する決議案でした。受動喫煙を防ぐためだとのこと。賛成多数で可決されましたが、健康のためには禁煙が当たり前の時代です。市役所としては税金を使って喫煙室を作るより禁煙を進める方がいいのではと思います。

平成30年には香芝市受動喫煙防止条例が制定され、改正健康増進法で庁内や市役所敷地内全面禁止になっています。奈良県内においても、屋外分煙施設を減らしている中での提案です。

めました。

ル庁で守れるの？  
② 全国一律のコンピューター化では制度や予算面で自治体の独自施策ができなくなるのではな  
③ スマホやパソコンについていけない市民は、サービスを受けられなくなる  
◆香芝市でも加齢性難聴者の高齢者に補聴器の助成をと求めました。